

# 和泉市久保惣記念美術館

## 開館記念 久保惣コレクション名品展



銅 梅樹籬飛鳥文鏡（重要文化財）

昭和57年10月26日(火)～12月26日(日)

和泉市久保惣記念美術館

〒590-02 大阪府和泉市内田町85

TEL 0725-53-1071・1072

久保家は和泉市内田町で綿織物業を営むかたわら、二代にわたって日本、中国の美術工芸品を収集してこられました。昭和53年6月、和泉市に美術品のコレクションを、美術館敷地、建築費、運営基金と共に寄贈する旨申し入れられました。和泉市はこの申し入れを受け美術館設立の準備を進め、ようやく今秋、十月二十五日開館、十一月二日一般公開の運びとなりました。

コレクションは総数約五百点からなり、内容は日本と中国の絵画、書蹟、工芸品（中国鏡、和鏡、仏教工芸、陶磁、漆工）と多岐にわたっています。個人のコレクションとしては国宝二件、重要文化財二十八件と、指定文化財の多い事も特色のひとつと言えるでしょう。今回の開館記念展ではこれらのよく知られた名品と、研究資料として体系的な蒐集品である中国鏡（旧富岡謙蔵コレクション）とをあわせて四十三件選びました。

このうち、絵画、書蹟には卷子装のものが多く、特に中世の絵巻が四件揃っている事は特筆すべき事でしょう。なかでも駒競行幸絵詞、伊勢物語絵巻、それに歌仙歌合などは、平安時代の宮廷生活の様子をうかがうのに好個の材料と言えます。又、これらとは全く性格を異にしますが、達磨図や宮本武蔵の枯木鳴鶴図、聖一国師、大覚禪師、一山一寧の墨蹟などはきわめて精神性の高い作品です。

前述のように、中国鏡はこのコレクション中、質、量共最もよく充実し体系だったもので、今回はスペース上残念ながら一部を御紹介するのみに留まりました。将来、全貌を御紹介したいと思えます。

また、研究資料としても貴重な鶴尾形柄香炉、響銅水瓶等の仏教工芸品と経巻類、古来同じ様式の作品の中では白眉と称えられてきた青磁鳳凰耳花生 銘万声などはそれだけでもみごたえのある作品と言えるでしょう。どうぞごゆっくり御鑑賞下さい。

絵画

- ◎1 駒競行幸絵詞 紙本著色 一巻 鎌倉時代 前期陳列
- ◎2 伊勢物語絵巻 紙本著色 一巻 鎌倉時代 後期陳列
- 3 北野天神縁起絵巻 紙本著色 二巻 鎌倉時代
- ◎4 山崎架橋図 絹本著色 一幅 鎌倉時代
- 5 時代不同歌合絵 断簡 紙本墨画 一幅 鎌倉時代
- ◎6 山王靈驗記 紙本著色 二巻 室町時代
- ◎7 達磨図 清拙正澄賛 紙本墨画 一幅 鎌倉時代 後期陳列
- ◎8 枯木鳴鶴 宮本武蔵筆 紙本墨画 一幅 江戸時代
- ◎9 十王経 伝敦煌出土 紙本著色 一巻 五代 後期陳列

書蹟

- ◎10 法華経葉草喩品 大字経 紙本墨書 一巻 奈良時代 前期陳列
- ◎11 法華経方便品 紙本墨書 一巻 平安時代
- ◎12 歌仙歌合 紙本墨書 一巻 平安時代
- ◎13 貫之集下断簡 石山切 藤原定信筆 紙本墨書 一幅 平安時代
- ◎14 熊野懐紙 藤原範光筆 紙本墨書 一幅 平安時代
- ◎15 聖一国師墨跡 法語 紙本墨書 一幅 鎌倉時代 前期陳列
- ◎16 大覚禪師墨跡 上堂語 紙本墨書 一幅 鎌倉時代 前期陳列
- ◎17 一山一寧墨跡 頌古 紙本墨書 一幅 鎌倉時代 後期陳列

工芸

- ◎18 木造 胎蔵界八葉院曼荼羅刻出龕 一基 平安時代
- ◎19 響銅 水瓶 一口 奈良時代
- ◎20 青銅 鶴尾形柄香炉 一柄 六朝時代
- 21 金銅 密教法具 一面器 十一器 鎌倉時代
- 22 青銅 儀首龍文卣 一口 西周時代
- 23 青銅 龍文鏡 一面 戦国時代
- 24 青銅 雷文鏡 一面 戦国時代
- 25 青銅 「日有熹」連弧文鏡 一面 前漢時代

- 26 青銅 星雲連弧文鏡 一面 前漢時代
- 27 青銅 方格規矩四神文鏡 一面 前漢時代
- 28 青銅 方格規矩四神文鏡 一面 前漢時代
- 29 青銅 「樊氏作卍」対鳳文鏡 一面 後漢
- 30 青銅 神人画像鏡 一面 後漢時代
- 31 青銅 四獸文鏡 一面 後漢
- 32 青銅 西王母東王父車馬画像鏡 一面 後漢
- 33 青銅 「吾作明鏡」重列神獸文鏡 一面 後漢時代
- 34 青銅 四神四獸文画像鏡 一面 三国(呉)時代
- 35 青銅 重列神獸文画像鏡 建武五年(四九八)銘 一面 南齐時代
- 36 青銅 「昭仁晒徳」五格五獸文鏡 一面 隋 初唐時代
- 37 青銅 「仙山竝照」团華文鏡 一面 隋 初唐時代
- 38 青銅 海獸葡萄文鏡 一面 唐時代
- 39 銅 簿流水双鳥文鏡 一面 平安時代
- 40 銅 松喰鶴文鏡 一面 平安時代
- ◎41 銅 梅樹籬飛鳥文鏡 一面 鎌倉時代
- ◎42 銅 蓬萊図方鏡 一面 室町時代
- ◎43 青磁 鳳凰耳花生 銘万声 一口 南宋時代

前期陳列 10月26日(火)から11月28日(日)まで  
 後期陳列 11月30日(火)から12月19日(日)まで  
 ◎は国宝 ○は重要文化財を表わす。